

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

10

2019 No.781

3 はじめの言葉

4 情報社会を考える その 109

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか
恐れ入谷の鬼子母神

編集部

隣国朝鮮半島の国家間問題が相変わらず熱を帯びている。国家間で取り交わした条約を無視した問題提起に始まったというのが日本／日本政府／日本人の理解である。改めて言うまでもなく、徴用工問題である。然るに、隣国韓国／文在寅政権／韓国人は、歴史の認識問題だとする。日本／日本政府／日本人が、過去の歴史事実を歪曲し、歴史事実を改ざんしようとしていると切り返してきている。まったく、恐れ入谷の鬼子母神、歴史事実の歪曲／改ざんをし、それをごり押ししてきているのは韓国／文在寅政権ではないかというのが、日本側の認識である。こういう時に日本では「盗人猛々しい」という表現をする。

6 デジタルガバメント DG21

デジタル政府の展開 その 19

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 3 連載 アーキテクチャ論 (102)

デジタルガバナンス

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

経済産業省が、2019年7月31日に公開したDX推進指標では、「挑戦を促し失敗から学ぶプロセスをスピーディーに実行し、継続できる仕組みが構築できている」ことが問われている。このように、デジタル技術を用いて新しい価値を持つ製品やサービスを開発する上では、必ずしも成功ばかりではないことから、失敗を許容する必要がある。失敗するかもしれないデジタル変革プロジェクトでは、デジタルリスクを管理するためのデジタルガバナンスが求められている。本稿では、デジタル変革で必要となるデジタルガバナンス

について解説しよう。

2 1 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第 25 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

2 6 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 119 回 史上最強の台風 15 号による

通信障害が拡大したのは

根本忠明

筆者は、本誌 2018 年 7 月号に「大阪北部地震で表面化した災害に弱い通信電力網対策をどうすべきか」を掲載した。今回は、地震ではなく台風による通信障害について、問題提起したい。台風対策と地震対策との違いは、事前対策の可能性にある。台風の襲来は、適切な事前対策で、被害を低く抑えられるはずである。また、デジタル化時代を迎え、電力障害は通信障害を不可避にしている。これを切り離すことが通信確保の重要な鍵になっている。今回は、想定外の被害となった通信障害を中心に問題を整理したい。

2 9 続インテリジェンスへのいざない 116

GAFA への逆風の時代に描く経営風景

今井 武

GAFA の逆風

GAFA に代表される巨大 IT 企業に対する逆風が始まっている。一つには、米国外の国の税制の盲点を突いた税負担の軽減であり、米国とフランスなどの間で紛争にもなっている。もう一つは、米国内の反トラスト法（独占禁止法）の調査である。その背景にはグーグルの検索市場占有率が世界で 90 %を超えていること、APPLE のスマホ OS シェア、アマゾンの通販シェア、フェイスブックソーシャルメディアの利用率も、米国でそれぞれ 50 %程度になっている実状がある。まさに、GAFA いずれの史上占有率においても、独占企業の様相を示していることから、問題になるのは当たり前だと言える。データを使った市場シェア拡大については、かつて日本で議論させた SIS（戦略的除法システム）と同じである。

3 1 連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまチヒロ

（毎週アップデートされる「まるで漫画シリーズ」 ホームページをご覧ください。）

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A5版 209頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門からできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとテスト・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確性の問題点とデータウェアハウス	付 録
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 CodeベースによるOLAPプログラムの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集計の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の影響	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付 録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 301頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動ピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動ピクセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM RIFの拡張と前本記
第二章 aism情報セキュリティ研究会の設立	第十二章 メールが騙かGTL
第三章 認識される電子署名方式の基本論	第十三章 自己ネットワーク利用のための「建設的」な議論
第四章 署名を掛け付けたCodeRedフレーム	第十四章 最近のインターネット新情報セキュリティ対策
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 日万バリエーションの高基と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WORM(バーチャル)フレームワーク	第十七章 ケーススタディ情報セキュリティ教育I
第八章 aismの2007年度の事業活動	第十八章 電子署名「野」作戦にあたっての「ノウハウ」
第九章 情報セキュリティ研究会の意見と提議	
第十章 インターネット環境の発展と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成長評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 食糧問題のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分類方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方規式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)
A5版 200頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの発展条件	■ 変革も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも成るも広報が窓口
■ 経営層の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	＜付＞記事とどう付き合う十六の原則(注とめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー—
—EIM社会に基んだ国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)
A5版 200頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 変遷	第十一章 日本国産手法の選い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 某チーム前後の発展
第三章 国産システムへの働き	第十三章 新たな陣っ手
第四章 WCIに向けて	第十四章 某チームの成長と新たな展開
第五章 F&C、R&M競争	第十五章 国産システムとネットワーク
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本国産システムと本業展開の歴史
第八章 某チーム立ち上げの誤れ	第十八章 国産システムとのデータ連携の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 国産システム— 前編、直後の苦しみ
第十章 某チーム、壁となる三人組	第二十章 国産システム— 後編、直後の苦しみ

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp